

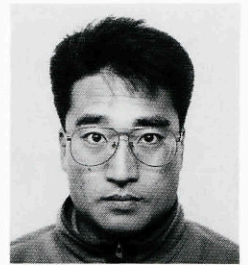


# わたしのまちづくり

シリーズ②⑥

田村建次さん

(向山)



田村耕太郎さん

(下中小野)

## 住み良い町づくりについて

三隅町？どこにあるのですか。都市部で聞けば、こんな返事が返ってくるのでは。

今、三隅町に何がありますか。何ができますか。何が自慢ですか。

村起こし・リゾート開発……等々、いろいろと将来展望はありますが、何が本当に必要なのでしょうか。誰もが誇れる町、誰もが憧れる町、誰もが行きたくなる町、誰もが住みたくなる町、そんな町づくりが必要なのではないでしょうか。

文化の町・芸術の町としての開発もいいでしょう。しかしそのまえに、住み良い町づくりが必要なのではないのでしょうか。家族が、親子が、友達が、恋人が、気楽に語らえる場・遊べる場が必要だと思います。公園や運動・遊戯場など、官庁の許可なく利用できる町民の自由スペースがあれば良いと思います。ちょっと遊ぶにも許可が必要であれば敬遠します。誰もが気楽に利用できる公共スペースがあれば、もっと生き生きとした町に生まれ変わるのではないのでしょうか。

他住民が思うよりまえに、町民が良い町だと思ふことが先決だと思います。

我々町民一人ひとりが町政に関心を持ち、協力し、より良い町づくりを考えていくことが今一番大切なことだと思います。

## 幼児教育制度について

三隅町に望むことが一つあります。それは幼児教育制度についてです。現在、地域ごとに宗頭幼稚園・中央保育園・野波瀬・豊原と決められていますが、幼稚園と保育園では条件が随分違っていると思います。一つ目は、子供を見てもらう時間が保育園の方が長い。二つ目は、幼稚園には夏休みがあるが、保育園は子供をあずけることが出来る。三つ目は、幼稚園には週休二日制度が導入されている。このような理由から、宗頭幼稚園には保育園に入れたいと考えている親がたくさんいると思います。また逆に、保育園には幼稚園の方がいいという人もいるでしょう。しかし、今の三隅町では自分で選択することが出来ないのです。これは絶対におかしいと思います。自由に選択させるべきだし、今のまま地域ごとに分けるのなら、条件をまったく同じにするべきではないのでしょうか。具体的な案としては、中央を幼稚園にし入園範囲を全町にする。それ以外は保育園として条件をそろえる。等考え方は色々あると思います。幼児の減少の問題もあるでしょう。現場の意見を早急にまとめてもらい、是非改善してもらいたいと考えています。

### 新刊図書紹介

トレンセン図書室より

〔幼・小学校低学年向〕

「たいこドン ふえピッピのあそび」 かこさとし

「のんきないたずらっこのあそび」 かこさとし

「しろいもち たまごやきのあそび」 かこさとし

「いちぬけた にいにげたのあそび」 かこさとし

「こびととおとぎのくにのあそび」 かこさとし

〔成人向〕

「花に問え」

瀬戸内寂聴・中央公論社

「勇者のモデル」

古川 薫・榎文藝春秋

「取引」

真保裕一・榎講談社

「ホワイト・カーゴ」

スチュアート・ウッズ

「愛のまわりに」

瀬戸内寂聴・小学館

「白く長い廊下」

川田弥一郎・榎講談社

「透明な遺書」

内田康夫・読売新聞社

「スカレット」

アレクサンドラ・リプリー

訳森 瑤子・榎新潮社